



北信越地区高等学校

自然科学部研究発表会

2月9日（日）、富山県富山市の富山県民共生センター サンフォルテで「第12回北信越地区高等学校自然科学部研究発表会」が行われました。この会は北陸（石川、富山、新潟、長野）の各県4校の代表が集まって研究成果を発表するものです。レベルの高い研究発表が多く、とても参考になる会でした。キノコの班が**最優秀賞とベストプレゼンテーション賞**をW受賞しました。七尾高校から発表したのは次のグループです。

生物部門 「対峙培養法におけるヒラタケと

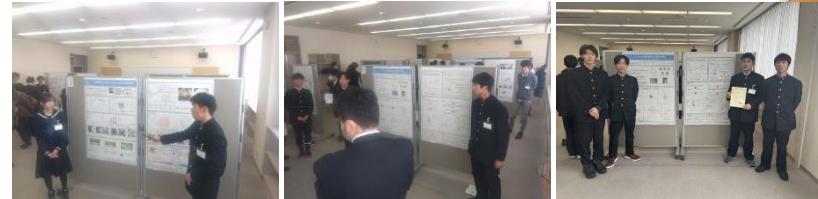


カビの成長範囲変化」

26H 奥原さん、清水さん、延田さん、本多さん

物理部門 「シャトルの壊れ具合と運動の関係」

26H 梶さん、曾原さん、文村さん、堀江さん



沖縄研修

2月11日（火）～15日（土）にかけて、沖縄研修が行われました。2年生理数科12名と引率教員3名が、沖縄県の沖縄科学技術大学院大学（OIST）等を訪れ研究交流を行いました。

研修の目的は、沖縄科学技術大学院大学（OIST）での研究発表や語学研修を通じて、外国語での発表力・討論力を養い、また、琉球大学瀬底研究施設の訪問を通じて、科学技術分野への関心を高め、将来の進路選択に役立てることを目指すものです。

- 第1日 沖縄へ移動
- 第2日 沖縄科学技術大学院大学（1日目）OISTについて キャリアトーク①
講義①分野/マリンサイエンス ハンズオンアクティビティ① キャリアトーク②
- 第3日 沖縄科学技術大学院大学（2日目）ポスター発表 講義② 分野/物理・数学
ハンズオンアクティビティ② アントレプレナーシップ研修
閉会式・写真撮影
- 第4日 美ら海水族館 琉球大学熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設
- 第5日 首里城公園 七尾へ移動



沖縄科学技術大学院大学（OIST）



美ら海水族館



琉球大学 瀬底研究施設



～生徒の感想～

- それぞれの場所で進んだ研究が行われていて、日本の研究施設は世界の研究機関と比較しても、かなりすごいのではと感じた。
- 沖縄科学技術大学院大学（OIST）で酸化した海でのウニの成長を研究しているという話を聞けた後に、瀬底研究施設でも同じように酸化した海のサンゴの成長について研究しているというのを聞くことが出来て、さまざまな所で未来の海の研究が進んでいるということが実感できた。
- 沖縄の生物分野だけでなく、物理や化学なども英語で学ぶことができ大変だったけれど本当にいいと思える研修だった。地球温暖化の中で、色々な生態系が変化していることを研究によって目に見て感じることができ、もっと対策を考えなければいけないと改めて思った。自分ができる取り組みからしっかりやっていきたいと思う。
- 普段住んでいる場所とはかなり環境が違っていたので新鮮だった。大学院での英語の発表や、亜熱帯の生態系に関する講義などを受けることが出来て面白かった。